

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人常盤会	代表者	施設長 阿久根 森喜	法人・事業所の特徴	いこいの丘では多彩な活動と生活に密着した機能訓練を無理なく継続できるように楽しく実施し、また必要な時に必要な支援を行い、高齢者の方々が住み慣れた地域で自立した生活を送れるように体調に合わせて支援を行います。
事業所名	小規模多機能施設 いこいの丘	管理者	奥田 麻衣子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	1人	人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度同様スタッフ全員での自己評価実施を行う。また、内容についてもスタッフ間のスキルの差によって評価項目理解の差が生じないよう取り組みを行う。</li> <li>開始時期については想定外のずれ込みに対応するため、今年度と同時期とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度もスタッフ全員による事業所自己評価を実施することが出来た。</li> <li>前回の反省に基づき、自己評価実施時に各項目を細かくスタッフに説明することで、内容についての設問の把握をある程度統一出来た。また、ミーティングの会議録も併せて運営推進会議にて提示出来た。</li> <li>8月の段階でサービス評価に関する、運営推進会議各回のロードマップをスタッフに提示し、今年度も予定通りに進めることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の自己評価については、いこいの丘の全員のスタッフが各々自己評価を行い、それを持ち寄ってのミーティングが開催されていることが確認できた。</li> <li>地域かかわりシートを作成するとき、実際には分かりにくい項目もあり、記入に困る事もある。運営推進会議等で「これはこういう事」というような「体験」が出来れば記入の際、思い出すことが出来て記入しやすいのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス評価実施の開始時期については9月の運営推進会議を取り掛かりとして実施していく計画が日程的に最適であるため、今回もしっかりとスケジュールを立て、無理なく実施出来る様に準備をして行く。</li> <li>地域まるごとシートを作成する段階で委員の方が迷わないように、一緒に行くなどの実施方法を行う。また、実際に「これは、こういうことである」といった体験を出来るよう各回の運営推進会議の中でも内容を検討する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>来客への対応については今後もすぐに駆け付ける事の出来る気配りを続ける。</li> <li>利用者の方々は自由にかつ安全に過ごしていただけるようミーティングで意見を出し合い定期的なリスクマネジメントを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の安心、安全は何よりも優先させることとして、事業所内に於いても定期的な研修を複数回実施している。</li> <li>門扉の設置は、しろやまの風、いこいの丘職員は常に頭にあり、安全を確保すると同時に、来客者に対しては速やかに駆け付けることが出来るよう目配りを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同敷地内にいる児童たちの安全を図るために門の設置はされているが、来客者に対しては、すぐに職員が駆けつけてくれる。また、玄関はフリーになっており、地域の方が自由にトイレを使うことが出来る事もわかった。わかった。</li> <li>施設を訪問した時に不快な音や臭いを感じたことはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が安心、安全、快適に施設を利用いただけるよう、利用者の声を聞く機会を今までよりも増やしていく。</li> <li>上記に関する研修の機会も施設内での実施、施設外への参加いづれも積極的に実施する。</li> <li>来客者に対しての門扉への気配りは継続して実施する。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型施設の役割を忘れず、今年度上手く行った地域交流会の開催を核に次年度はさらに信頼関係を厚くしていけるよう定期的な交流とスタッフ全員による挨拶の励行（普段の付き合い）を大切にしていける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は工事の関係からグラウンドが使用できなかったが、地域交流会そのものは昨年度以上に盛会であった。</li> <li>・日常のあいさつ等、普段からの地域との関わりを大切にすることを心掛けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流は、しろやまの風共々本当に良くやってくれており、地域交流会なども地域の方々が楽しみにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流会を核に地域との挨拶を大切にするなど、これまでの取り組みについては継続していけるよう努める。</li> <li>・地域との信頼関係を一歩進んで、要援護者の相談を必要な時に選んでいただけるようにしていく。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の一人一人が地域の一員であり続けることが出来るよう、近隣住民や地域資源に働きかけ見守り、声掛けの支援や交流を進めていくと共に最終的には地域での本人の役割を持って生活を行えるようにしていく。</li> <li>・利用者魅力的に思ってもらえる施設内外活動のアイデア創出（ミーティング活用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の運営推進会議で報告させていただいているように、今年度も多くの施設外活動や地域行事への参加をしてきました。また、最近では、行きたいところや、したいことについて利用者に図り、可能であれば出来るだけ要望を尊重している。</li> <li>・地域住民による見守りも推進できたが、利用者の状態によっては上手くいかないケースも見られた。</li> <li>・今年度はホームページの充実も図り、内外の活動の様子を107件（1月現在）更新出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国統一の様式ではあるが、この項目の中には「はい」とも「いいえ」ともとれる設問があり、解答に迷ってしまう。</li> <li>・地域でのいろんな取り組みは運営推進会議等で見聞きしており、把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望を重視しながら、マンネリ化しないよう常に魅力的な活動の提供を行えるよう担当制を実施する。</li> <li>・活動の内容を積極的にホームページで発信し、また運営推進会議で報告を実施する。</li> <li>・地域住民による見守りは、上手くいかなかったことを精査し、住民一体となって利用者を支えていくことが出来るよう、核となる動きを行う。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議における運営に対する意見、要望に対するスピード感を持った対応及びその報告体制の継続。</li> <li>・地域、施設の相互理解、協力の場としての役割強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議においては、毎月の活動報告を実施。また、法人としての動き（新規施設開設等）の理解促進、交流会の協力依頼、介護保険制度の変更点説明など、その時々に応じた地域が必要とする情報の提供に努めた。</li> <li>・運営推進会議において出された意見や要望に対しては、次回開催時に必ず報告を行えるように努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の中で意見や要望が出たことに関しては、次の会で何らかの回答や報告をいただけていることから、スピード感のある対応をいただいていると思う。</li> <li>・この会議に参加させていただいていることで、この施設が何をやっているのかが地域で理解が出来てきている。</li> <li>・過疎地であるこの地域には市街地とは違った問題も多い。全般的な事にとらわれることなく、地域の実情に合ったことを続けてくれればよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での動きや介護保険制度をはじめとする制度、サービスの情報について、住民に必要な情報を積極的に発信できるように努めていく。また、それらについてはホームページも活動状況のみならず、それらの発信に積極的に使用していく。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢化、過疎化のため、地域の方々に防災訓練に足を運んでいただくのは非常に難しいが、その開催状況については地域への発信を行う。また地域防災拠点としての周知をすすめる。</li> <li>・今年度同様あらゆる災害に対する訓練を継続し備えを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度の計画を立て、消防の立ち合いがあるものが年3回（夜間想定を含む）実施され、また立ち合いのないしろやまの風、いこいの丘独自のものは毎月実施されている。</li> <li>・火災訓練の他に風水害、不審者対策訓練も実施され、その様子や評価は運営推進会議での報告や、ホームページ内で公表されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長からも話があったとおり、地域が高齢過疎地になっており、施設に駆けつけること自体、送迎が無ければ難しい状態。施設の防災訓練と言う前に、町内会の防災訓練さえも長く開催出来ていない。</li> <li>・この項目は、いこいの丘のある地域では非常に難しいと思われる。逆に市街地にある施設ではクリアしやすい項目である。</li> <li>・地域の実情があり、そこは気にしなくても良いのではないか。</li> <li>・防災訓練にかかる計画等、町内の回覧を行うなどの協力は出来ると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる災害、防災に関して訓練を実施する。（火災、風水害、不審者対応等。※津波に関しては想定地域外）</li> <li>・地域からの駆けつけ等は地域事情により困難であるが、施設の取り組みについて、回覧等で周知する。</li> </ul>
----------------------------	--	--	--	--